

認知症ケア始動

原点に立ち返って

グループホームこまば
木もれ陽

平成29年8月発行 [第4号]

認知症ケア理念

『ご利用者お一人おひとりが自分らしく
人として当たり前前に生活することができることを支えます』

1. ご利用者の考えや習慣を否定せず自由意志を尊重します。
2. ご利用者が生み出す物語に参加します。
3. 「援助する・される」という関係ではなく平等な人間としてご利用者と接します。
4. ご利用者自身の持てる力を十分に発揮できるよう支援します。
5. ご利用者が社会とのつながりを失わず生活できるような環境を提供します。

今年度から
グループホームこまばが目指す
『認知症ケア理念』掲げること
にしました。
職員はこの理念を基に行動し
理念を実現すべくご利用者に
向かいます。



相良ホーム長の「ご利用者ファースト」



「余計な事をしない介護」

認知症の人が当たり前前に生活できる、そんな社会を創りたいと思っています。社会的に認知症の理解が広がれば「認知」の障害も障害でなくなる、そう考えています。そこでまず認知症対応型のグループホームこまばでは「認知症理念」と同時に、理念を実現する為の職員の行動の基準として、「余計な事をしない介護」という指針を設けました。その人らしい当たり前の生活を奪ってしまう「やり過ぎ注意事項」を列挙して常に行動の基準にしてもらう意図からです。

認知症の人を管理しないように、認知症の人を教育・指導しないように、認知症の人の生活習慣を壊さないように、認知症の人の記憶違いを否定しないように、認知症の人の役割り・関係性・社会性を奪わないように、していきます。

下半期、当ホームでは「認知症ケア理念」を柱に、それを達成すべく以下の方策を取っていきます。

- 指針「余計な事をしない介護」を用いて定期的にホームのケアを職員自らが評価できるようにしていきます。
- センター方式を用いたケアマネジメント過程を継続して行い、ご利用者を中心に考えられるホームにします。
- 「認知症ケア」の職員教育を継続して行います。
- ケア・業務改善を提案する会議を継続し、職員が自ら考えて各々の立場でホームと自分をマネジメントできる職場体制を作っていきます。

敬老会 9月17日(日)

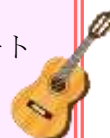
お知らせ

- 11:00~12:00 懇談・皆さんで調理
12:00~13:00 ご家族の皆様とご一緒に
ご長寿をお祝いしましょう。
14:45~15:15 駒場苑2階にて
フォークソングのコンサート

愛隣会チャリティバザー

10月28日(土)10:00~14:00

法人内の全施設合同でバザーを開催
します。皆様のお越しをお待ちして
います。



カメラマン山本の「この一瞬」

山本一輝 (やまもとかずき)

H28年5月に入職 若手のホープ
自前の一瞬レフで日常の瞬間を切り取ります
9月からは特養に異動しますが、たまには
写真を撮りに来ます!



こまばの暮らし

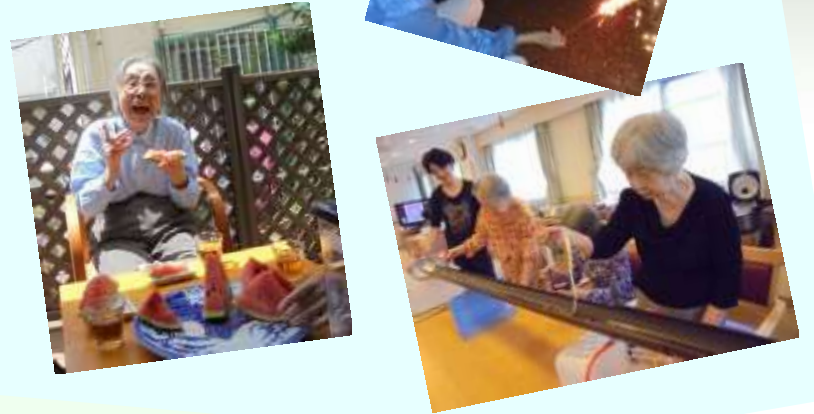
関係性を築く

ご利用者同志の関係性を大切にしています



季節感を大切に

季節感を肌で感じられるようにしています



地域に根づく

地域の方をお招きしたり地域に出ていったり、地域との交流を続けています。



個別ケア

個別に 出来ること
したいことを行って
頂きます



職員インタビュー

こまばのこの人



芳川 直子 (よしかわ なおこ)

平成28年4月 介護福祉士専門学校に通いながら
パート職員として入職

平成29年4月 専門学校卒業と同時にフルタイムに変更
民間企業や病院など様々な経験を経て介護の世界へ。
仕事以外でも地域での福祉活動に情熱を燃やしています。
元気いっぱい、バイタリティにあふれる人です。

○ 介護を始めたきっかけは？

両親をガンで亡くした事がきっかけです。父の闘病生活を7年間支えた母は、その後、自身もガンになりました。母がガン末期の際に、介護保険サービスを利用して在宅復帰させました。自宅で母を看たことで、母が食べたい時に自由に欲したものを食べられた事などの喜びがあり、それを実現できた事は誇りに思っています。疼痛管理が難しく最期は病院でしたが、治療だけじゃない人の支え方に魅力を感じてこの世界に入ろうと思いました。「介護」って色々できるなあって。

○ 介護の楽しさってどういうところですか？

「すべての経験が役に立つ」事です。私の職歴は沢山ありすぎて履歴書の枠をはみ出す程です(笑)。歯科や病院での経験はもちろん、「娘」だったこと・「母」であること…等、経験から導き出せる事は多い。現場では、職員でありながらも「娘」になったりしています。

○最高ですね。前年度は介護福祉士の専門学校に通いながらアルバイトとして勤務されていましたが、今年度から改めて常勤の有期職員となりました。グループホームこまばで実現したいことはありますか？

学校では、常に「根拠を持って」と学びました。人が人を支えるので感性は大切です。でも、ホーム全員でケアを行なっていくにはそこに根拠が必要だと考えます。「認知症ケア」を根拠を持って行い、伝えられるようにしたいです。

○自己PRがあればどうぞ。

自分が生まれ育った地域で、「ココロのふれあいさろん おむすび」という名称で生きづらさを抱えた子供から高齢者までの居場所づくりを月に1回主催しています。1日のオープン時間の中で、地域包括と共催で認知症カフェの時間帯があり、その後は民生委員さんと一緒にこども食堂の時間帯がありと、共生ケアを目指し活動をしています。